

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	市街地における安心で安全なまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	富山県												
計画の目標	市街地における通学路等における歩道の設置など歩行空間の安全確保を行い、安心で安全なまちづくりを行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	136	A	136	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		H32末
1	市街地ゆとり歩道割合を、約79.5%（H30）から約80.1%（H32）へ増加させる。 人口集中地区（人口密度40人/ha以上の地域）の国県道の歩道のうち、幅員が2m以上かつバリアフリー化された割合を算出する。 （市街地ゆとり歩道割合）=（人口集中地区の幅員2m以上かつバリアフリー化された歩道延長）/（人口集中地区の歩道延長）	795(1/10)%	(1/10)%	801(1/10)%
2	県道における事故発生件数（人身事故）を、620件以下へ減少させる。 交通事故白書（富山県警察本部）により、県道における事故発生件数（人身事故）を計上する。	620件	件	620件

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	富山県	直接	富山県	S街路	改築	(都)双代線	現道拡幅 0.40km	富山市						62	-	
	A01-002	街路	一般	富山県	直接	富山県	S街路	改築	(都)上大久保上二杉線	現道拡幅 0.76km	富山市						74	-	
											小計						136		
											合計						136		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

富山県土木部都市計画課

事後評価の実施時期

令和元年 8 月

公表の方法

富山県のホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

市街地における通学路等における歩道の設置など歩行空間の安全確保を行なった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き市街地の安心で安全なまちづくりが行われるよう事業進捗に努める。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	市街地のゆとり歩道割合		
	最終目標値	801(1/10)%	関係機関等との調整に時間を要したことから、事業進捗に遅れが生じたため。
	最終実績値	80(1/10)%	
県道における事故発生件数			
2	最終目標値	620件	市街地の幅員が狭く歩道が整備されていない通学路等において着実に歩道を整備したことで、自動車と自転車、歩行者の安全で円滑な交通が確保されたため。
	最終実績値	519件	